

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
1	地域福祉部会 (H30.12.11)	藤澤委員	<p><b>認知症高齢者のサポートについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方も家に閉じこもるということではなく、安心して外出できるような社会を作るといった主旨で、テレビで、他都市において、地域包括センターに登録して、センター長、ケアマネジャーが同行していくとか、コンビニなどの協力を依頼するという事例があるということが紹介されていた。</li> <li>・認知症カフェや子ども食堂において、軽度の認知症であれば料理もできるし、楽器の演奏とかを教えているとか、そういう形で社会との繋がりを広げ、病状も改善するということがあるので、そういうようことができたらいいなと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな福祉の取り組みを進めていく中で、ご意見にあるような軽度認知症の方を包摂したものにしていくことは可能性があると考えます。今後、地域のアクションプランなどで、研究を進めてまいります。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p>■要検討  <input type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                      ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )</p> <p>予算措置</p> <p><input type="checkbox"/>あり  <input type="checkbox"/>なし</p>
2	地域福祉部会 (H30.12.11)	小倉委員	<p><b>地域サポーター・推進コーディネーターについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サポーターや推進コーディネーターはどれぐらいいて、どんなふうに使われ、どうやったらなれるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サポーター、推進コーディネーターはいわゆる役割で、1人の人がその2つを兼ねておられます。</li> <li>・地域サポーターというのは、要援護者の平常時の見守りです。推進コーディネーターというのは、色々な取り組みの推進支援ということで、地域福祉支援員という名前で、各地区の憩いの家に常駐されています。</li> <li>・区の委嘱で任命しており、地域活動協議会会長の推薦を経て任命しており、また31年4月から次の任期に入りますので、公募方法は検討中ですが、公募しますので、良い方がおられれば推薦いただければと思います。</li> <li>・人数は16人ですが、現在は、関目東が不在ですので15人となっています。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p><input type="checkbox"/>要検討  <input type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                      ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input checked="" type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )</p> <p>予算措置</p> <p><input type="checkbox"/>あり  <input type="checkbox"/>なし</p>
3	地域福祉部会 (H30.12.11)	小倉委員 関野委員	<p><b>コミュニティカフェについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティカフェがすごくいいと思うが、区内の喫茶店に呼びかけたら、手挙げるとこあるんじゃないか。毎日じゃなくても「コミュニティカフェの日」みたいなこともして近所の人が行けるように。「あんな人いてはってんな」みたいなことにならないかなと思う。</li> <li>・コミュニティカフェについて十分理解できていない。こういうふうにしてやるんだよという指導があれば活動しやすいのかなと思う。</li> <li>・1つは、同じ境遇の方が集まって、お互いにコミュニケーションするというのは一般的にわかるんが、誰かが中心になってそこでうまく進めていくような役割の人がいるのか等、もう少し具体的に何か勉強するところがあればいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティカフェはなんか良さそうだなというイメージはあるけれども、何が良いのか、どうしたらいいのかと色々あると思います。</li> <li>・また、喫茶店とか居酒屋さん等でも、子ども食堂をやりたいと言ってくださるところも結構あります。ただ、長続きしない。それは運営について、切り回す人、上手にコーディネートする人がいるというのが事実です。</li> <li>・理想は例えば食事サービスやふれあい喫茶など、元々あるものに幅を広げていくことが一番手っ取り早いです。旭区のフェリスモンテさんは、子どもや認知症の高齢者に手伝ってもらえる仕組みを作るなど、広げていった結果、20年がかりでされている。</li> <li>・部会での議論も大事ですが、見学会等で先進的な取り組みをしている所を見に行けば、より意見が出るのかなと思いました。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p>■要検討  <input type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                      ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )</p> <p>予算措置</p> <p><input type="checkbox"/>あり  <input type="checkbox"/>なし</p>

城東区区政会議12月部会での意見・質問への区の方針

資料1

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
4	地域福祉部会 (H30.12.11)	山崎委員 岡田委員	<b>コミュニティカフェの担い手について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな地域福祉の取り組みを進めるにあたっては、市民活動ボランティアセンターとの協働を図り、ご意見にあるような人材の発掘、マッチングが必要と考えます。</li> </ul>	対応状況 予算措置 ■要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティカフェは良い取組だが、上からの目線で話をしてくるだけだというのをよく聞く。</li> <li>そのためには、話上手な人、傾聴ボランティアの講習を受けているような人で、人の話をよく聴く人をコミュニティカフェに配置することも考えればいいのか。</li> <li>森之宮では傾聴ボランティアが中心になって、ずっと話を出来るだけ聞いてあげようということで、コミュニティカフェかな、お昼も一緒に食べたりして、色んな方に参加いただいている。</li> </ul>		
5	地域福祉部会 (H30.12.11)	岡田委員 大嶋委員	<b>多様な主体の取組について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区としては従来の地域福祉活動以外にも、新たな活動を生み出していきたいと考えておりますので、より枠組みを超えた自由な取り組みを今後も生み出す努力をしていきたいと思っております。</li> </ul>	対応状況 予算措置 ■要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			<ul style="list-style-type: none"> <li>森之宮の取組は、任意団体なので、他地域から来る人もいます。公的な予算もらうと制限が出るが、もらっていないので誰でも来れる。「支え合うまちづくり」ということであれば、連合、町会だけでやらないかんという考えでないような仕組みに作り変えていかないとしんどいと思う。</li> <li>地域の中でそういう場所が色々あったらいいと思う。町会だけ、連合だけでは抱えきれないからっていうので、それはそれでよろしくお願ひしますと思うが、一緒にできたらどれだけ強くなれるかなと思っている。</li> <li>森之宮は町会組織率が20%程度で、町会に入らないという人が多い。だから、入らない人向けにやっているという言い方もある。入ってないと行けないところはないですよと言って、少しずつコミュニティを作ってるというもある。</li> </ul>		
6	地域福祉部会 (H30.12.11)	一井委員	<b>家に帰れない高齢者の対応について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察で保護された場合は、行政間で一定情報のやり取りをして探しますが、名前だけ言える人は結構います。名前を区役所で調べられるので、担当のケアマネージャーさんやご家族を探して、それを警察に連絡するということが多いです。</li> <li>そうしたことから連絡があればすぐに探せる状態です。ただ、土日は区役所が閉まっているので探せないため、少し宿泊いただくこともあると聞いております。</li> </ul>	対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			<ul style="list-style-type: none"> <li>迷っている認知症の方がいたら、まず警察に通報していいのか、区役所に連絡したらいいのか。</li> <li>警察にした場合、城東警察の方に連絡が行って、そういう捜索願が出ているかどうか。だいたいどのぐらいで徘徊されてお年寄りが帰れるのか。どういう流れになっているか教えていただきたい。</li> </ul>		

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
7	地域福祉部会 (H30.12.11)	岡田委員 又川委員 鈴木委員	<b>地域と関わりがない高齢者への対応について</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・森之宮は団地が多く入居者がよく変わる。高齢になってきて、放っておいてくれという人が多く、そういう人が孤独死してる。 ・普通なら、「あそこのおじいちゃんおかしいな」ってことやったら、親族に電話したりしてしますけども、どこに住んでるのか、そういうのが全然分からない人が多い。他に団地が多い地域はどうしているか。 ・団地に高齢の方がたくさんいるので、亡くなったりとか、1人で夜中にこけて、ドアが開かなくなって、救急車とか消防車がよく来ているが、対応が難しい。 ・道でうずくまっている高齢者がいたが、近所の方がお住まいを知っていたので、幸い救急車には乗らなかった事例があった。何か見守りの仕組みができればよい。	・「見守りネットワーク事業」における、個人情報提供の同意を取るのも、森之宮は突出して低い。同意しない、放っておいてくれということが多く、そういう方は手立てのしようがないので、何かあってから対応するしかない。 ・事前にその人の身上を調べあげてというように、そんな権限は我々にはありませんし、誰も手出しできないというのが実情です。		
8	地域福祉部会 (H30.12.11)	大嶋委員	<b>夜間等における困りごとの対応について</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・地域が対応できる日中はいいが、朝早くとか夜遅くに高齢者が行き場が無い時はどうしたらいいのか。 ・親族の協力が得られない方で、他に頼るところがない場合に、助けてもらえたり、1日か2日泊めてもらえるようなところはあるのか。	・本件が該当するかどうかは定かではありませんが、高齢とか障がいとか病気がなく、一般的に、家で生活できないという場合に、シェルター、自立支援センターというのがあります。そちらの方のご利用の場合は生活支援担当までご相談ください。 ・ただし、時間外については施設との調整も困難であるため、警察にご連絡いただきたいと思います。		
9	地域福祉部会 (H30.12.11)	芝山委員	<b>独居高齢者の孤独死について</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・診療所で働いていて、独居の人が亡くなるのが結構ある。診療所に来た時は対応できますけど、予約に来なかったら、「今日忘れてませんか」って電話を掛ける。連絡がつけばいいが、つかないからあとは分からない。 ・やはり地域で見守っていくというのが、どういう体制をとったらいいのかが非常に難しい問題だ。	・受診に来ない人に電話を掛けて聞いても、医療機関の立場ではそこまでできない。それを事前に一人暮らしの人とかに同意を取っていただいて、そういう事があつたら区に通報していただくというのは効果があるのかなと思います。 ・新聞販売店とは見守りの協定を結んでいますが、医療機関の予約の時間に来ない人は、倒れている可能性が高い。今後の取組のヒントにさせていただきたいと思います。		

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
10	地域福祉部会 (H30.12.11)	芝山委員	<b>地域と医療・介護機関等の連携について</b>	ご意見の通り、行政・医療・介護の各機関と地域との協働・連携が重要と考えます。今後はさらにそれぞれの取り組みに拡がりが見られるよう、常に連携を意識することを各機関に促してまいります。	対応状況 予算措置 ■要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			・勤務先の診療所が地域活動協議会のメンバーに入っている。色んな行事にも診療所として関わって、健康チェックや医療講演会等を行っている。地域との繋がりを持つ中で、協議会の人たちから、「こんな困った事例があるんだけど」と言って紹介されることもある。 ・結局はお金がないから病院に行けないという事例が増えてきているように感じる。そういう時に診療所としてどんな支援できるのかをやっぱり地域包括も含めて相談していくとかかっていうのが、やっぱりそういう地域活動協議会の中で一緒にやる中で繋がりもできてきている。 ・地域に根ざして一緒にやっていくっていうのが、色んな医療機関だとか介護機関とかね、そういう所も関わりを持っていくことがやっぱりすごく大事だと思う。		
11	地域福祉部会 (H30.12.11)	鈴木委員 藤澤委員 一井委員 関野委員	<b>在宅療養について</b>	・ふれあい城東11月号の特集は「地域包括ケアシステム」の啓発で作成し、奥様がガンの末期で、最期在宅を選ばれた方を取材しました。医師と訪問看護の全面的な支えを得て、看取られました。具体的な中身を聞いていますと、なかなか人に勧められるものでもないなというのが実感です。 ・今後、在宅医療ができる力量を持った訪問看護師や、あるいはバックアップ病院の強化など、色んな課題が専門家側にもありますし、地域住民の方にもどこまでの治療を望むのか、そういったことを事前にやっぱり考えていただくというのが趣旨でございますので、やはり地道に研修等を進めていかなければいけないと思います。	対応状況 予算措置 ■要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			・在宅での療養について、介護や看護などの研修、勉強会が必要ではないか。どんなやり方をしたら、長生きできるというか本人が楽というか、そういう勉強会というか研修会というか、そういうふうなものも必要だと思う。 ・認知症の方は視野が狭くなることから、「アイコンタクト」という療法で、驚かさず症状の回復も見込めるということを聞いた。そういう講演会や、例えば出前講座を、区役所でやってると思うんですけど、身近なところでそういう勉強会ができないかと思っている。 ・本人や家族の意向を踏まえて、介護センターのカウンセラーから、詳しく説明を受けることができたため、最後まで家で看取れたと聞いた。 ・家で看ると決めても、家族の負担はどんどん大きくなり、最終的には病院へとなくなってしまふ。医療、政府、地域で一緒になって、どこがサポートできるのかっていうのは、本当に考えていかないとけない課題かなと思う。		
12	地域福祉部会 (H30.12.11)	山崎委員	<b>高齢者による事故の補償について</b>	・なかなか市民全体のコンセンサスを得られるかどうか、難しい問題があるかと思いますが、意見を伝えてまいりたいと思います。	対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			・例えば認知症の高齢者が踏切で事故を起こした場合に多額の賠償金が必要となるが、こうしたことは公助でなく自助で対応するべきである。 ・こうした場合に対応できるよう、高齢者が掛け金何百円かで保険に加入し、万が一のときに保険金がおおりるような仕組みが神戸市で条例化されたと聞いた。 ・こうしたものを城東区単独では難しいと思いますので、是非大阪市の担当部署あるいは大阪市会に提案をしていただくということではできないか。		

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
13	地域福祉部会 (H30.12.11)	関野委員	<b>地域における外国の方への対応について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の違いからくるトラブルや災害時の対応など、外国の方との良好なコミュニケーションを必要とする場面は今後ますます増えてくると思いますので、大阪国際交流センターなどから有効な情報提供がありましたら、地域の皆さんとも共有してまいりたいと思います。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中で、外国の方が増えてきている。今後は政府の方針もあり外国人労働者が増えてくると思うが、その時の地域の関わり方というか、その辺をどのようにしていったら良いかなど。</li> <li>例えば、町会費のことや、周りとも全然関係が取れないということになると、何かあった時の誘導とかゆうのがなかなか難しくなってきます。</li> <li>そういう時のコミュニケーションの取り方とかかなど、まだ色んなことを情報収集というか、教えていただければと思っています。</li> </ul>		
14	地域福祉部会 (H30.12.11)	福田委員	<b>介護する方のケアについて</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後地域包括ケアシステムの取り組みを進め、在宅介護・在宅療養を拡大するには、家族がレスパイト(休息)を適度に取り入れる体制を確保することが重要と考えます。施設のショートステイ枠の確保、病院の地域包括ケア病棟の活用などを検討してまいります。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で高齢の夫婦がおり、夫が認知症でどこへ行くにも妻が懸命に介護しているが、介護する妻も疲れて、もう自分が入院したいと言うのを聞いた。夫の方はたまにデイケアに行っているが、その時だけが自分の安らぎがあって、とにかく自分が2、3日でもいいから入院したいと。</li> <li>包括センターとか、色んな方と連携をとりながら、少しでもその方が、1日でも楽な生き方できるようなことがないか、少し勉強したいなと思いました。</li> </ul>		
15	こども・教育部会 (H30.12.13)	井島委員 萩原委員 福田委員	<b>戦略3-1にかかるアンケートの実施について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どういう世代が来たのかについては、今回はイベントに来られた方にアンケートを実施しておらず、その分析についてはできておりません。</li> <li>各事業に、来られた方にアンケートをとる方法と、幅広く、区政の色々な行事や取り組みに向けてアンケートをとる方法がある中で、もともと事業ごとに実施していましたが、事業ごとですと、来られている方が特定の層に偏っていることや広がりが見込めないということで、全体の視点に立てる区民アンケートを活用しようということで、業績目標のところにあげています。</li> <li>しかしながら、委員ご指摘のように、幅広く事業としての評価をいただくための指標と、どういう層がこのイベントに来ていたかというところの両方の視点がやはり、必要であると考えますので、そのあたりは今後工夫してまいります。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てフェスティバルは1,700人で過去最高とのことだが、来られた方の年代は。</li> <li>また、来られた方のアンケートかを取っているか。取っているのであれば、どんな感じだったのか。</li> <li>単に人がたくさん来たというだけでなく、実際どういう方が来ているか把握しないといけない。</li> <li>3-1の業績目標について、この中に区民アンケートをとって、「上記目標が30%に満たない場合、再構築する」と書かれているが、アンケートを取っているのか。</li> <li>イベントでは、子どもさんを連れて、大きな荷物を持った中でアンケートを書かせるのはとても大変なので、アンケートを省いたのでは。</li> <li>開催時間のことなど、参加した人の直接の意見は、大事かと思う。住民全体の意見も聞きながら、直接参加した人の意見も、ものすごく直接の想いが出るような気がする。</li> <li>アンケートの数字が上がれば、事業実績があがり、予算要求でも増額を求められるのではないか。アンケートという武器を最大に利用された方がいい。</li> </ul>		

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
16	こども・教育部会 (H30.12.13)	中井委員	<p><b>子育て支援事業の予算について</b></p> <p>・29年度の予算は500万を超えているが、決算は384万7000円。30年も500万円台ですけども、31年は350万円ぐらいに減ってるんですけどもなぜか。</p>	<p>・予算については、もともと見込んでいた部分から何かをやめたというよりも、競争入札といった契約事務の結果、当初予算よりも少ない経費で事業が実施できたことから、平成31年度予算は実態に沿った予算とさせていただいたところです。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 □その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、■質問、□上記以外)</p>	<p>予算措置</p> <p>□あり □なし</p>
			<p>・もっと子育ての事業を広げていこうと思えば、当然予算がかかると思う。かなり大きな額が減らされてるので、理解しにくい。</p> <p>・もう少し詳しく、区としてのこういう構想があるとか、区政委員の方から意見を聞いて、地域から聞いて、こういう催しをしたとしても、200万削ってもいけるんやとか、そういうことがあるなら納得するが。それとやっぱり、新しい事業をするのであれば当然予算を増やさないとできないのではないかなと思います。</p> <p>・子育てマップはすごくわかりやすいし、どの地域でもしてはるんやなと思って感心した。そういうことに少しでも何かお手伝いできたらいいなとは思ってるが、やっぱり何か事を始めようと思ったら予算がつきものと思います。</p> <p>・わくわく城東とか子育てマップについては、だいぶ工夫されている。ただ、単年度主義なので、何年か先のことも見ながら、計画を立て、それに基づいて、単年度主義で、てきぱきとやっていただけたらと思います。</p> <p>・住民情報はどこに委託しているのか。</p>	<p>・運営方針59ページの一番下の「城東区長自由経費」が、区が自由に使える予算になりますが、30年度が3億7900万円ほどに對しまして、31年度算定額が3億6600万円とすることで、金額で言いますと1,300万円の減。率で言いますと、3.4%の減になっています。</p> <p>・これは大阪市トータルの中で、非常に厳しい財政事情がある中で、区として予算を1%減らすようにということがありました。</p> <p>・さらに、市内24区ありますが、規模の大きな区もあれば、小さな区もある中で、例えば住民情報は民間委託など、長期委託のため、1%減らそうと思っても、減らせないところもあります。そういったことを24区間で調整したりということもありまして、城東区はマイナス3.4%ということになったという状況です。</p> <p>・そうした中で、個別の事業はマイナスのところが多くなっていますが、一部の事業は増額とするなど、集中と選択をしながら、入札落ちなどを考慮し見直しをしています。</p> <p>・住民情報業務は株式会社パソナメディカルに委託しています。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 □その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、■質問、□上記以外)</p>	<p>予算措置</p> <p>□あり □なし</p>

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
18	こども・教育部会 (H30.12.13)	石塚委員 福田委員	<b>図書ボランティアについて</b>	<p>大阪市では、平成27年度から学校図書館の蔵書の充実を図る“学校図書館図書整備”と、学校図書館の業務をサポートする“学校図書館補助員・コーディネーターの配置”を2本柱とする「学校図書館活用推進事業」を実施しており、小学校では、学校図書館支援ボランティアの養成を行い、当該ボランティアによる学校図書館の開館時間の延長や図書の整理、読み聞かせ等の取組を行っています。また、中学校では、学校元気アップ地域本部事業で各校の実情に応じて、学校図書館の開館時間の延長や図書の整理等の取組を行っています。これらの取組により、児童生徒の読書意欲の醸成、読書習慣の確立に一定の成果が見られているところです。さらに、当該事業全体の事務局機能として、中央図書館に「学校図書館支援グループ」を設置し、専任の司書や指導主事等を配置し、地域図書館はもちろん、教育委員会事務局の各部署とも連携し、学校図書館の支援にあたっています。</p>	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置
			<p>・小学校で図書ボランティアをしているが、運営方針に書かれているのは、区の図書館でされていることだと思う。長く城東区で子育てをしていただくという目標であれば、ここに来ている子っていうのはちょっと少ない。</p> <p>・小学校の図書ボランティアも、活動しやすい、しにくいところと色々ある。小学校の方へのそういった活動への理解というの、図書館だったり役所の方からすすめていただけると、ボランティアの方の活動もやりやすくなるのではないかな。</p> <p>・子どもたちに寄り添う時間をもっと増やして、学校に来れないとか、居場所が無いとか、色んなことも含めて、広い観点で取り組みを広げれば、ボランティアと子どもも良い関係ができるので、もっと強めて欲しい。</p>			<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
19	こども・教育部会 (H30.12.13)	池山委員	<b>わくわく城東の全戸配布について</b>	<p>・通常よりも20万円強の上乗せが必要となるため、毎月広報誌に挟み込むというのは、なかなか厳しい状況にあります。</p> <p>・今後、事業予算の生み出しや紙面活用における工夫等、引き続き検討してまいります。</p>	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input checked="" type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置
			<p>・わくわく城東が区の広報誌11月号にはさみ込まれ、すごく嬉しかったが、12月は入ってなかった。このはさみ込みは経費的にはかなりかかるのか。</p>			<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
20	こども・教育部会 (H30.12.13)	萩原委員	<b>子育てサロンと共働き家庭への支援について</b>	<p>・現在、国においては、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面する中、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることをめざして「働き方改革」を推進しています。</p> <p>・こうしたことから、委員ご指摘のとおり、在宅での子育て家庭への支援施策と保育施設等への入所による子育て支援施策とのバランスについては、今後の国の動向を注視しつつ、区としてもより効果的な施策が展開できるよう努めてまいります。</p>	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input checked="" type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置
			<p>・主任児童委員として関わってきたが、今までは家庭、いわゆる専業主婦で子育てをされている、幼稚園にあがるまでの子どもたちを対象に子育てサロンを展開してきた。</p> <p>・これからは、時代が変わり、専業主婦と共働きの家庭との逆転現象が今もう起きていると思う。生き方は色々あると思うが、共働きのお母さんへ、行政として手を差し伸べるといふか、子育て中の働くお母さんたちも、そしてお父さんも一緒になって子育てをしていくのが、これからの時代だと思う。</p> <p>・だから行政の考え方も変えていくべき時が来ているんじゃないかという事も考えつつ、予算の使い道も考えていただけたらと思う。</p>			<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
21	こども・教育部会 (H30.12.13)	東野委員 松尾委員 中島委員 小林委員	<b>区政会議の運営方法の変更について</b>		対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の部会では、事前議題抽出アンケートのお願いが配られた。しかし、結果を部会長しか知らずに、指名するのは議事運営がおかしいし、結果を報告するのが普通ではないか。</li> <li>こういうアンケートはとったことがないし、他の区政会議でも聞いたことがない。</li> <li>今まで9時に終われなかったことがあったかというのと、ちゃんと9時までに終わってる。議論も出尽くした。だから、時間を気にしすぎず、結果を発表してから進めてほしい。</li> <li>時間も限られてるし、1つの工夫としてアンケートをとられたんだろうと思う。しかしやはりアンケートは個人の名前を出すものではないと思うので、だれが何を答えたかについては配慮していただきたい。</li> <li>課題3つともしなくても、1つを十分に活発に意見する方がこの会議の趣旨に合ってるような気がする。基本的に9時までということだし、あまり時間にこだわらないほうがいいと思う。</li> <li>いずれも大事な項目だが、4つうちの3つで、1つはどうでもいいような感じを受ける。この進め方は、誰の意見で変更したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、アンケートの結果については、9名の方が子育て支援事業ということで1番目。7名の方が基礎学力支援、同じく不登校支援であったため、それぞれ2番目、3番目の項目にいたしました。保育事業につきましては6名の方ということで、「その他」の中でご議論いただきたいと思えます。</li> <li>また、アンケート結果については、この間、区政会議の中で、なかなか発言いただけてない方もいらっしゃるため、できるだけ発言しやすい項目で発言していただくという趣旨で、運営の一助となるようにということで、部会長に提供させていただきました。お名前への取扱いにつきましては、今後の運営の中で検討してまいります。</li> <li>今回の変更は、これまでの部会では意見分野が散漫になったり単発の意見になることもあったことを課題として認識し、一部の委員の方からもご意見を頂戴していたため、1つの課題をまとめて、掘り下げて議論をしようという形式に変更しました。</li> <li>ただ、試行錯誤の段階であるため、いただいたご意見も参考に、よい良い部会運営を模索していきたいと思えます。</li> </ul>	
22	こども・教育部会 (H30.12.13)	福井委員	<b>こども食堂について</b>		対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市内でもこども食堂っていうのが言われてきているので、区としてもっと把握してもらいたい。</li> <li>こども食堂も、子育て支援事業に入ると思うが、運営方針に全然書かれていないので、今後は考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所として、こども食堂に対する関わりや支援のあり方等について検討してまいります。</li> </ul>	
23	こども・教育部会 (H30.12.13)	中井委員	<b>基礎学力の向上について</b>		対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力について、全国一斉テストは結果データが小学校ごとに細かく出ている。</li> <li>城東区として弱い部分等の傾向があるのか無いのか。そうした部分を把握して取り組んでいく必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力テストの結果は、各学校で把握されており、それを踏まえた対応については、学校として取り組んでおられると思います。</li> <li>Joto塾については、参加される方の学力も個人差を踏まえ、その時の授業の内容等のレベルを合わせる中で、学力向上に繋げようとして取り組んでいます。</li> <li>小学校の時間外学習については、遅れがみられる児童生徒について、ご家庭の方に説明して参加を呼びかけ、同意された方に合わせて、有償ボランティアの方にフォローいただいているという状況です。</li> <li>テスト結果の活用については、各学校の分析等もありますので、学校と意見交換したいと思えます。</li> </ul>	

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
24	こども・教育部会 (H30.12.13)	中井委員	<b>具体的取組3-2-1の予算について</b>	<p>・学習支援の予算については、ボランティアの交通費や報償金が主になっており、予算と比べて、執行が少なかったため乖離したものです。</p> <p>・理由としては、ニーズと来ていただく方の時間や科目など、マッチングがうまくいかなかったという点が大きく結果として使い切れなかったというのが実態です。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 □その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、■質問、□上記以外)</p>	予算措置
			<p>・30年度運営方針を見ると、29年度の予算額が424万円で、実際の決算は89万3000円となっている。これほど大きく減ったのはなぜか。</p>			<p>□あり □なし</p>
25	こども・教育部会 (H30.12.13)	東野委員	<b>塾代助成制度について</b>	<p>本件は区役所所管業務ではありませんので、ご意見は担当することも青少年局にお伝えしました。</p> <p>(こども青少年局の見解)</p> <p>塾代助成事業は、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、こどもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供することを目的として、学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室などの利用に係る経費を月額1万円を上限に助成するもので、市内在住の中学生の約5割(約29,500人)を助成対象として実施しております。</p> <p>本事業導入による効果検証としましては、アンケート調査を実施しており、「経済的な負担の軽減」「中学生の個性や才能を伸ばす機会の提供」「学力や学習意欲の上」といった本事業の目的に沿った3つ効果指標を設定しております。</p> <p>生徒及びその保護者向けに平成30年3月に実施したアンケート調査の結果では、まず、経済的影響については、63.2%の保護者が「子どもの教育に役立つものへの支出を増やすことができた」と回答しており、また、機会の提供に関しては、カード交付前は教室等を利用していなかった方の78.7%の方が、新たに教室等を利用した、カード交付前から教室等を利用していた方の48.6%が、受講科目等を増やせたと回答しております。さらに、学力や学習意欲に関しては、「学力が向上した」と実感している生徒の割合は66.7%となっております。</p> <p>以上より、事業の目的は一定達成できているものと認識しております。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 □その他 (□国所管、□府所管、■市他所属所管、□質問、□上記以外)</p>	予算措置
			<p>・塾代助成制度について、何年間もやってきたので総括や、教育効果がどれだけあったのかという検証をしてほしい。</p>			<p>□あり □なし</p>

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
26	こども・教育部会 (H30.12.13)	東野委員 福井委員 石塚委員	<b>体育用備品の提供について</b>		対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・今年度は相撲マットとまわしだが、現場からの希望なのか、区で決めたことなのか。 ・相撲であれば、嫌がる女の子もいるのではないか。学校で使うのであれば、全員が対象となるような備品の方がいいのではないか。 ・関目では毎年、年に1回相撲大会が小学校を借りて行われており、希望者を募り、女の子もたくさん参加されている。 ・他区で現場の声を無視して備品を整備した結果、使わなくなったという例も聞いた。現場が使いやすいような予算の立て方をしていただきたい。	・小学校16校あるため、もともと相撲の取り組みをやっていた学校ではこういうのが欲しいという声がありますし、他に違うものが欲しいという声も確かにあります。 ・限られた予算ですので、今年度は相撲用の備品を購入することにしましたが、今後、区の予算を使った支援事業については、各校長先生の方から色々お聞きして、その都度バランスの取れた形で執行していきたいと思っております。 ・なお、城東小学校では、低学年から授業の中で相撲に取り組みまれており、高学年になっても女子児童も元気に相撲を取っており、実際には男子女子で、大きな差が出てくるようなことではないと考えています。 ・また、学校の先生向けに女子相撲の世界大会に行かれた方をお招きして研修会も開催し、女子でも楽しめるということをお話いただき、男子女子という隔てなく、今は楽しんでいただける時代であると考えています。	
27	こども・教育部会 (H30.12.13)	中島委員	<b>不登校の人数、定義について</b>		対応状況 予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・今、城東区で不登校と言われる子どもは、小学校、中学校、高校で何人ぐらいなのか。 ・不登校の定義はどうなっているのか。 ・区ごとの人数は開示されていないということだが、把握はしているのか。	・不登校の定義としては、学校を休む日数が年間で30日を超えた段階で、統計的には不登校という形でカウントされていくこととなります。 ・不登校の人数はデリケートな問題になるため、行政区ごとの数字は公表されておりません。市全体の数字としては、小学校は、29年度が817人で、28年度は742人、27年度は608人であるため増加傾向となっています。中学校は、29年度が2,680人で、28年度が2,649人、27年度が2,497人であり、増えてきています。全体の母数が何人かというところは、統計資料を今持ち合わせておりませんので、分かるようであれば後日公表させていただきます。 ・高校は、居住地と通う学校が異なり、また私立、公立、国立と色々な選択肢があるため、統計が取れてません。また色々な資料を調べる中で何か見つけることができたら、機会を見てお伝えさせていただきます。 ・なお集計については、各学校から直接教育委員会が集約し公表しているため、区も城東区の数字は把握していません。	
			小学校 平成27年 113,355人 平成28年 113,001人 平成29年 113,549人 平成30年 114,616人 中学校 平成27年 54,917人 平成28年 53,941人 平成29年 52,369人 平成30年 50,970人		

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
28	こども・教育部会 (H30.12.13)	福井委員	<b>不登校の取組の成果について</b>		要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			・区ごとの不登校の人数を把握していないということだが、この事業の成果はどうやって把握されているのか。	・不登校の取組の成果としましては、対象となる児童生徒数の増減ということではなく、そういう状況にある児童生徒が現状から何人一步踏み出すことができたかというところに着眼しておりますので、当該取組への参加者数を指標としております。	
29	こども・教育部会 (H30.12.13)	福井委員 尾松委員 小林委員 井中委員 東野委員 福田委員	<b>不登校支援の方向性について</b>		要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			・事業者により、家から出れない子どもの支援と、学習支援と方向性が変わることだが、両方をお願いできないのか。 ・事業者をあてにせず、基本は学校の先生だと思いで、学校での取り組みが必要ではないか。 ・子どもが家に1人であることが多いため、学校に来れなくなる前に子どもの異変を親だけの目では見つけにくい。勉強が出来る出来ないよりも、学校で保健室の先生などを充実させていくなど、学校が一番の居場所になるようなことを考えないといけない。 ・先生に余裕が無いのに、勉強だけでなく、子どもに色々なことを教えてくださいと言っても難しいのではないか。 ・命を落とす子どももいるため、あまりテーマを広げず、精神的に病んで引きこもってる子のケアをどうするかということを最優先にすべき。 ・心理カウンセラーを充実するのも良いことだが、それと同時に先生の数を増やしてほしい。また先生への研修等、現場の先生方にプラスになるような集中と選択をやっていただきたい。 ・不登校を通して、人づくりの意味があるんじゃないかなって言うようなお金の使い方をお願いしたい。	・事業者選定にあたっては、単に金額だけでなく、内容を審査のうえ、選定していますが、31年度については、主に学習面からの支援とコミュニケーション等の心理面からの支援と2本の委託事業の実施と予定しており、既に事業者の公募手続きを開始しております。 ・不登校と一括りに行っても、色々な不登校のパターンがあり、学校との連携を十分に図りながら、教師への支援、児童生徒とご家庭への支援について、どういう形で区として関わっていいのか引き続き検討したいと考えています。	
30	こども・教育部会 (H30.12.13)	中島委員	<b>不登校支援での区の役割について</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
			・不登校に関わっているのが、区、市、学校、教育委員会、それと保健所などに分かれてると思うが、法的には区はどのようなことが出来るのか。 ・教育委員会とまた立場が違うというお話だったので。区としてできることは何なのか。どこを目ざされているのか。	・基本的には教育委員会が主になりますが、大阪市では、もっと地域、身近なところで取り組んでいくために、分権型教育行政を推進しており、区長に学校教育にかかわる権限や事業予算が順次教育委員会から移行しています。 ・その中で、区としては、経営課題に「安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちづくり」とし、不登校の児童生徒の居場所づくりや相談、学習支援などの支援を実施しています。	

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
31	こども・教育部会 (H30.12.13)	中井委員	<b>長時間保育について</b>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はお母さんも、パートではなくて正社員で、残業される方も結構多くなっている。</li> <li>・そんな中、保育所はだいたい6時頃で終わる。女性が安心して働いていくためには、どういうふうにケアしていくかということを考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常保育では11時間、延長保育を実施している保育所で12時間という場合が一般的であるため、19時半か遅くとも20時ぐらいにはお迎えが必要となり、通勤時間を考えますとなかなか残業までできない状況があることは認識しています。また、更なる延長保育を実施したいけれども事業の採算が合わないために実施に至らないという事業者側の課題もあります。こうした多様な保育ニーズへの対応については、国のこども子育て支援制度の動向も注視しつつ、区でできるものがあればまた取り入れていきたいと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>要検討</li> <li><input type="checkbox"/>今年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討</li> <li><input type="checkbox"/>対応困難・不可</li> <li><input type="checkbox"/>その他</li> </ul> ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
32	こども・教育部会 (H30.12.13)	小林委員	<b>一時保育事業について</b>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・城東区の一時的保育事業の予算が、31年度算定のところで、かなり減っている。事業実績に対して減ってるのかもしれないが、一時保育は大変大切なことだし、利用したいけれども、実際にはすぐに対応できるような使い方になってないからそんなに利用されてないのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実績が上がらなかった原因のひとつとして、区役所のイベントや手続きの時に利用いただける一時保育の実施予算を確保しましたが、利用が少なかったり、庁舎内に一時保育の実施場所が確保できなかったりと、事業そのものが行えなかったということで、事業費が落ちています。</li> <li>・また、保育施設での一時保育についても、保育士の確保が非常に難しい状況になっている中で、限られた保育士を他事業に優先することもあり、事業規模が小さくなり、利用実績が落ちている状況もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>要検討</li> <li><input type="checkbox"/>今年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討</li> <li><input type="checkbox"/>対応困難・不可</li> <li><input type="checkbox"/>その他</li> </ul> ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
33	まちづくり部会 (H30.12.20)	江ノ口委員 芦村委員	<b>避難所設備・備品の充実について</b>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月30日の時には、避難所を開設することになったが、備えが地震に偏っていて、マットなどちょっとした設備が無かった。避難所の設備の充実に予算を充てて欲しい。</li> <li>・防災訓練した時に、備品はいっぱいあるのはわかったが、誰がどこにどう置いているかはわかっていない。被災時は少し我慢してもらって、時間がたてばなんとかが段取りができるのではないかなと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算の中で優先順位をつけ、必要性等を考えて、予算要求をしています。</li> <li>・ご意見いただいていたエアマットについても、少しずつですが、来年度も追加配付ということで配備していきます。他にも、お湯を沸かすものがないので、カセットコンロの配備を検討するなど、できることから取り組んでおりますので、またご意見よろしくお願ひいたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>要検討</li> <li><input type="checkbox"/>今年度対応</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>来年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討</li> <li><input type="checkbox"/>対応困難・不可</li> <li><input type="checkbox"/>その他</li> </ul> ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )
34	まちづくり部会 (H30.12.20)	松村委員	<b>予算額の推移について</b>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体予算が減っており、各事業が軒並みマイナスになっている。</li> <li>・限られた予算で大変だが、一度に全てのことができないので、やはり優先順位をつけて予算を重点的に配分するところを決めることも必要ではないか。中でも防災は、予算は手厚くするべき。</li> <li>・予算要求がもともと去年より少なくなっているのは、なぜか。</li> </ul>	(全体予算の推移については、17番をご覧ください) <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、防災予算については、29年度は防災拠点整備により額が大きく見えますが、日常の防災関係の予算というのは、これより低い金額になっており、色々見直しをしながら、予算を工夫しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>要検討</li> <li><input type="checkbox"/>今年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応</li> <li><input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討</li> <li><input type="checkbox"/>対応困難・不可</li> <li><input type="checkbox"/>その他</li> </ul> ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )

城東区区政会議12月部会での意見・質問への区の方考え方

資料1

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
35	まちづくり 部会 (H30.12.20)	奥田 委員	<b>東大阪市の避難勧告メールの受信について</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・台風21号の際に、携帯に東大阪の避難勧告情報が入ってきた。諏訪と東大阪は接近しているが、どの程度城東区にも来ていたのか。 ・また、その内容の表示の最後に、東大阪市と書いてあったため、上の方だけを見て間違っただけで行動した人もいたので、改善できないか。	・確認したところ、台風21号の際、東大阪市は避難準備に関する情報ということで勧告を出されました。これは、東大阪市役所が特定の方に直接メールを送ったということではなく携帯各社の緊急速報メールに発信を依頼したもので、大阪市も携帯各社と情報発信にかかる協定は結んでいます。 ・その情報の受信については、電波なので、大阪市の中で東に近い所は、東大阪市のメールが入ることがありうるということです。 ・配信画面については、携帯会社の仕様ですので、今の段階では困難と考えています。		
36	まちづくり 部会 (H30.12.20)	奥田 委員	<b>電柱における避難場所の表示と広告について</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input checked="" type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・避難所の案内看板が電柱に貼られているが、他の広告看板が大きく、混乱する。広告を貼れないようにできないか。	・電柱管理者の基準に沿って広告が設置されていると思われるので、それらを排除することは困難と考えます。		

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況
37	まちづくり部会 (H30.12.20)	江ノ口委員	<p><b>地域への情報伝達について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の地震の時に、MCA無線の連絡が全然とれなく、地域がどうなっているかがわからなかった。</li> <li>・台風の時の避難所開設の時も、各連合町会長経由で連絡が入ったが、伝達がうまくいかなかった。具体的取組の中に地域への情報伝達や方法の確立みたいなことが、表現として入ったらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の地震の際には、電話で各連合会長に連絡がとれましたので、敢えてMCA無線機は使用しませんでした。</li> <li>・連合会長がご不在であったりすることも考えられますので、防災リーダーなどのメールアドレスを事前に教えていただきましたら、連合会長あてのFAXと同文を一斉送信することとしております。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p> <input type="checkbox"/>要検討  <input checked="" type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                      ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )                 </p> <p>                     予算措置  <input type="checkbox"/>あり  <input type="checkbox"/>なし                 </p>
38	まちづくり部会 (H30.12.20)	江ノ口委員 清水委員	<p><b>青色防犯パトロールの車両について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青パトについて、防犯関係以外に避難所開設情報など周知しておられ、それは非常に有効だと思う。</li> <li>・自前の車を持っている地域もあるが、今は8連合が防犯協会が持つ1台を借りて運営していると聞く。今のままでは、2年ごとに3か月しか借りられないので、年に1台ずつでも増やしてもらえないか。</li> <li>・自前で青パトを調達したが、乗務員を募集するのが大変。出来るだけ若い人に声をかけて参加いただき、主に夜に回っているが、効果があると思う。</li> <li>・歳末の夜回りも高齢化が進み担い手が少なくなっているが、青パトを利用することもできるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青パトを購入するとすると、購入のコストや駐車場代、車検代等がずっとかかってきますので、大きな額が必要になってまいりますので、なかなかすぐには動けないと考えています。</li> <li>・さらに、ドライバーの確保についても、必ずしも毎日走らなくてもいいということになっているものの、相当数の要員を確保しなければならないという問題が出てきます。できる範囲で、できる地域はやっていただいたらありがたいということぐらいしか今のところは言えないと考えています。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p> <input type="checkbox"/>要検討  <input type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input checked="" type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                      ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )                 </p> <p>                     予算措置  <input type="checkbox"/>あり  <input type="checkbox"/>なし                 </p>

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
39	まちづくり部会 (H30.12.20)	芦村委員 島井委員 清水委員 江ノ口委員 森下委員 安川委員	<p><b>地域行事の参加者・担い手について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の行事の参加者が少ない。どうい風人に人を集めたらいいのか教えて欲しい。</li> <li>・地理的に区の行事に参加しにくい。ため、地域でフェスティバルを開催したところ、比較的よく集まっている。やはり地域の人たちとの繋がりをもっと強化した上で区の行事であるべきではないか。</li> <li>しかし、運営サイドも高齢化もありどこまで続けていけるか疑問。</li> <li>・色々な機会を通じて、若い人に直接声掛けをして参加を促している。また運営を各団体に任せるなど、できるだけ若い人にやっていただくような方向にしている。</li> <li>・地理的にスポーツに関わることは、なかなか参加できてない。できれば第二寝屋川とかに桜並木を整備して16連合の中の端とか参加して交流ができればいいと思う。</li> <li>・地域で高齢化が進んでおり、行事はたくさんあっても、出る人は限られているし、役員はがんばっているが、なかなか難しい。</li> <li>・夏祭りについて参加者の固定化もあり、内容を改め若い人の参加が増えた。その時に声掛けをしている。若い人の意見を取り寄せて、若い人たちをいかに集めるかということに努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか人が集まらないことについては、城東区だけではなく全国的な都市部共通の問題ということで特効薬はないと思っていますが、感覚としましては、成功体験を持ってもらったら、1回2回やって楽しかったら、3回目来てくれるのかなと思っています。</li> <li>・それに対して、例えば区役所が何をできるのかと言うと、まず最初の1回を行ってみようかなと思ってもらうための情報発信です。今まだできてないところもありますので、ここにもうちょっと力入れましてですね、地域のイベント情報を発信し、まずは知っていただいて、イベントから入ってもらったらどうかと思っています。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p>■要検討  <input type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                  ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )</p>	<p>予算措置</p> <p><input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>
			<p><b>文化的な取組について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツは集まりやすいということがあるが、それと同時に、SARUGAKU祭など、文化、伝統などで頑張ってやってくるグループや団体がいっぱいある。そういうところにももっとスポットを当てていくことも、必要ではないか。</li> <li>・SARUGAKU祭は榎並小学校に榎並猿樂発祥の地の石碑が建っているから、大事にしていかなあかんということで始めた。それに関わって能楽教室を定期的に行っている。地域の文化を育てていくのも大事である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1-2「区民が生き生きと活躍している魅力あるまちづくり」の中で、文化的なことを入れており、SARUGAKU祭や、JOTO区ラシックなどの音楽にあふれるまちづくりや、花と緑と人を育むまちづくりという取組を支援しているところ。</li> <li>・生涯学習ルームの方では、絵手紙や書道など文化的なことや、ある程度ご高齢の方でもなじんでいただけるのではないかなという取組もやっています。</li> <li>・地域でもっと強固な、充実した取組をして、そのうえで区の行事があるのではないかなということについては、同感であり、生涯学習ルームの情報発信も強化しながら、ぜひ地域の方でみなさんにも知って頂いて参加いただけるように、取り組んでまいりたいと思います。</li> </ul>	<p>対応状況</p> <p><input type="checkbox"/>要検討  <input type="checkbox"/>今年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応  <input type="checkbox"/>来年度対応できないが、引き続き検討  <input type="checkbox"/>対応困難・不可  <input type="checkbox"/>その他                  ( <input type="checkbox"/>国所管、<input type="checkbox"/>府所管、<input type="checkbox"/>市他所属所管、<input type="checkbox"/>質問、<input type="checkbox"/>上記以外 )</p>	<p>予算措置</p> <p><input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
41	まちづくり部会 (H30.12.20)	芦村委員 松村委員 奥委員	<b>自転車等のマナーについて</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・自転車の安全な走り方について何か啓発、徹底する方法はないのか。 ・基本は自転車は車道を通らないといけないが、歩道を我が物顔でベル鳴らして通っていることに、警察と協力して何とかならないか。 ・片手でスマホを見ながら前を見ずに走ってる自転車も問題。広報活動を警察と一緒にやって、区も積極的にやる必要がある。 ・スマホを操作しながらベビーカーを押しているお母さんも結構多い。啓発できないか。	・交通安全運動のティッシュと一緒に配るビラにも自転車マナーも大きく書いておるんですが、あんまり読んでくれてないという状態です。何かにつけて、こういう啓発も続けていくしかないのかなという風に思っています。 ・ひたたくり防止カバーなど啓発キャンペーンのときに、被害者としての立場だけじゃなくて、場合によっては加害者になることもあるというスタンスの啓発も今後必要になってくるのかなと思っています。		
42	まちづくり部会 (H30.12.20)	奥委員 安川委員	<b>城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」について</b>		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input checked="" type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 )	予算措置  <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・「コスモちゃん」は自分で歩けないし、立っただけになっているような気がする。お金はかかるが、自分で歩いて、愛嬌ふりまけるようなものに、変更を考えてみてはどうかと思う。 ・墓地域もコスモちゃんと同じような体型のゆるキャラを作った。イベントでも子どもたちが非常に喜んで寄ってきてくれ、一緒に来る親に地域行事の声掛けをすることもできる。あれが一番子どもたちが喜んでついてくれる形じゃないかなと思う。	・城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」の着ぐるみは、空気を送り込んで中に入る形態であり、中からは外が見えにくいいため、移動の際は横で人が誘導しています。 ・手を動かすなど、簡単な動きはできるので、区民まつり等で写真を撮って喜んでいただいたり、持ち運びしやすいという利点があるため、貸し出しも可能で、地域等の行事で活用いただいていることから、当面変更の予定はありません。今後も周知に努めてまいります。		

※「その他」…国や府・他局所管事業など区として対応できない内容、単に質問や感想、今後の実施が未定の場合、そのほか他の「対応状況」に該当しないもの。  
 ※「予算措置」の有無については、対応する場合のみ表記